

REBECCA

— Magazine for Tough Them —



Blond Saurus Special Issue

MESSAGE ABOUT B.S.



good morning! Nokko

ノッコは完璧、朝は苦手。なんとデビュー以来、仕事のときはマネージャーにいつも電話をしてもらってなんとか起きるんだぞうだ。リン、リン！「ハイ、おはよう」と、とりあえずは目を覚ますのだが、毎朝、毎朝「起きたくねー」という言葉が頭中を駆け回り、大胆にも、いつの間にか寝ちゃう。それで、きちんと仕たくして、顔を洗って、「ゲエッ、ヤバイ！ 遅刻しちゃう！」と思いつつ、そして、ある瞬間、ふと目を覚ます。「ゲエッ、ヤバイ！ ベッドの中でバクバク。と、朝は、ほとんど幼稚園のように、ジュースとクッキーの朝食を、ここからが早い。騒がしいノッコのモーニング・アワー、千年間さして、大変！ しかし、っちゃん……なんとも、騒がしいノッコのモーニング・アワー、千年間変わってないっていうのも大したヤツだ。面白いというか、ブラ変な日には、ドッコイ、パキッと、しかも自分でサッサと起きて、イベートにメイクしてお出かけるんだと。それにもノッコきれいにメイクして、朝、パキッと、それにもノッコの上でのクッキー・ブレイクファスト。それにもノッコのメンバー全員そうみたい。スタッフ大変だ！

FASHION:

Our Favorite Style

PHOTO by YOSHIYUKI ISOTA

HAIR & MAKE-UP by ISAO YAMAMOTO
KATSURU

STYLE by REBECCA



●左、靴:エスピーエーグル 価格未定 ブルゾン:アルバタックス ¥32,000 ストール:アルバタックス ¥6,800
右、ジャケット:アルバタックス ¥45,000 シャツ:アルバタックス ¥9,800 パンツ:アルバタックス ¥16,000





“ブロンドサウルス”はレベッカが創り出した架空の恐竜である。が、本当は恐竜のことではなく、
のことなのだ。前頁でメンバーが考えるブロンドサウルスと思われる女の子の話がでてきたけど、その
どうやら珍種の部類ではなく、ある意味でポピュラーな女の子のようだ。単純に言うところ、プリミティブ
なエネルギーをたくさん持ち合わせたとってもピュアな感性の持ち主。つまりブロンドサウルスとは
時には見えるほど美しい野性を持ったある種の女の子のことなのである。

土橋は言う「僕はブロンドサウルスはいつの時代にも存在した、本能むき出しの存在だと思う。だから
代には恐竜としてきっと存在していたんだ」確かにそうかもしれない。それにそうだったとしたらこの
は時を越えた壮大なロマンを秘めた物語になる。ノックいわく「きっとブロンドサウルスはいたんだよ、
住んでいて、体はピンクで、草食動物だったけど力が強く肉食の恐竜にも負けないの。でも頭はよく
っごく欲求が強くって……」だそうだ。もしかしたら、ブロンドサウルスは本当に生存していて、何かが

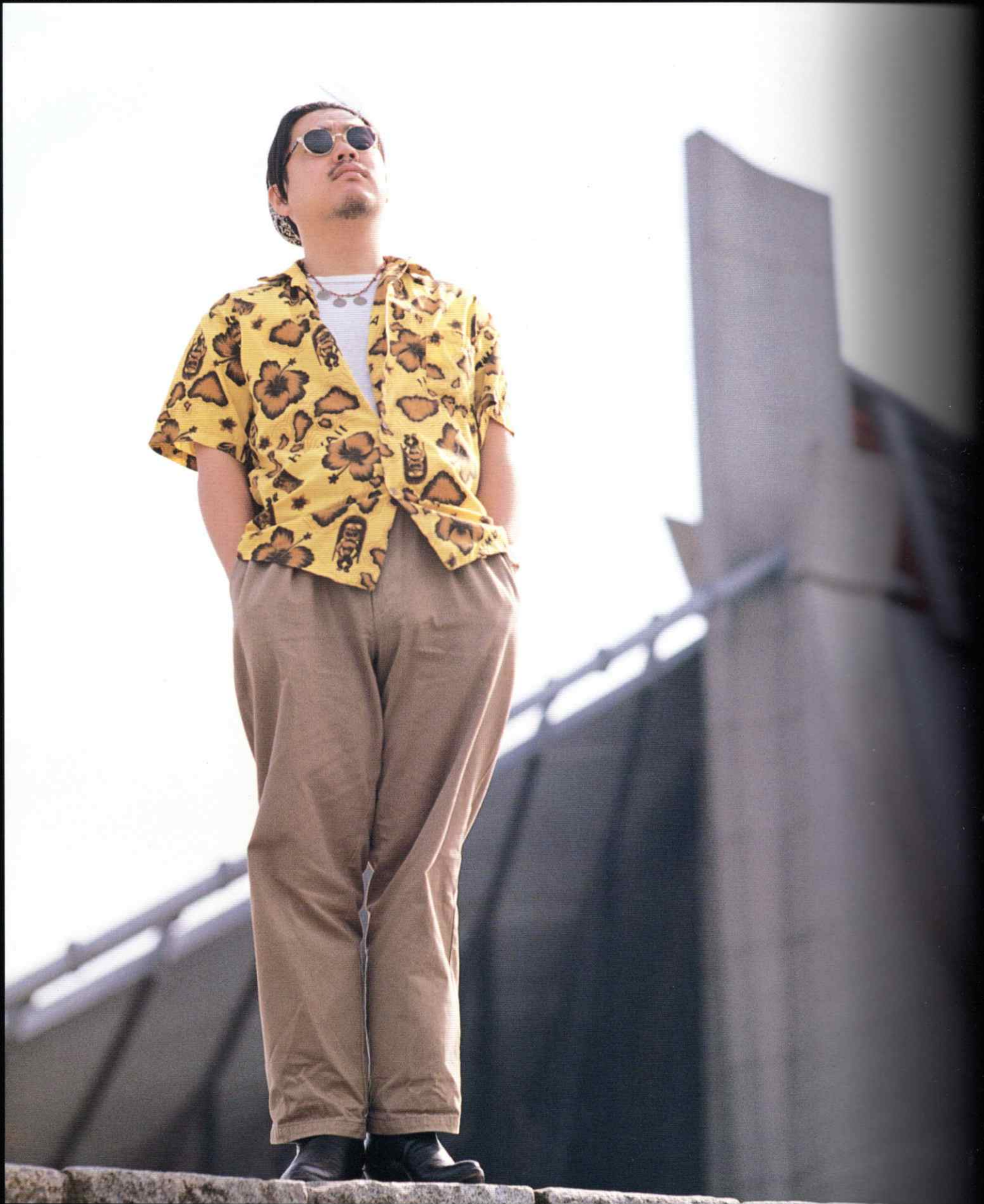
BIOLOGY



その姿を消し去ったのかもしれない。そしてそのエネルギーは時を越え、現代人たちの中にプリミティブとして甦っているのかもしれない。

メンバーたちの思い入れが、今回のアルバムのキービジュアルとなった。恐竜というのは、実は今、旬のキャラクターとしてもはやされている。それだけにキャラクターとして起用することは、とてもリスキーだが、ブロンドサウルスとは、恐竜のキャラクターではなく、現代に生きる女性像なのである。

ブロンドサウルスは、とても感受性が強く、人間的で、正直で、ピュアな人間のシンボルナイズされた存在。その真実な爆発力や、世の中のルールに流されない本質を貫く存在感が、まるで恐竜のようだ……なにか、とくに東京人たちは、時流やトレンドのバイオリズムに逆らえずに、流されていく。それもかならずしも悪いことではない。そんな中でレベッカのメンバーが考える、素敵な女性が、ブロンドサウルスであり、裸の女性であるということなのです。



エッセンシャルツアー以来、レベッカのサポートミュージシャンとして参加してる中島オバロ。パーカッションのオバロちゃん、すっかりおなじみ。実は彼、さりげなく幅広い活動をしておりまして、レベッカをはじめ久保田利伸、角松敏生、KAN、135、S-kunなどのサポートミュージシャンとして活躍し、さらにエコーズ、グラスバレー、高橋研、聖飢魔II、アマゾンズ他のレコード・セッションもしている。今回はもちレベッカ最優先でツアー参加。かなり気合い入れてガンバリますって言っとりました。今年28歳のオバロ、大酒くらって体調こわさないようにしてネ……。



日本屈指のギタリストと言われてる是永。彼いわく「今回のLPは、私の愛聴盤となる程の最高傑作なので、私はリハーサルが待ち遠しくしょうがなかった。今回のツアーは1年ぶり、私にとっても久々のコンサートツアーなので気合が入りまくっているという事で、ヨロシク！」なのだそう。なんだかオッチョコチョイで、やけにイヤツ。優しく、3枚目の彼なのですが、音楽に関しては深〜いものがあるってのがミュージシャンしてて素敵なんだよね。そんな当人はあいかわらず、幅広いミュージシャン関係の友人と六本木に繰り出したり、ギター弾きまくったりのアーティな生活をしております。

REBECCA TOUR STAFF

BAND / REBECCA

Vocal: NOKKO
Synthesizer: AKIO DOBASHI
Bass: NORIYUKI TAKAHASHI
Drums: YUTAKA ODAWARA
— Support Musicians —
Percussions: OBAWO NAKAJIMA
Guitar: KOICHI KORENAGA
Manipulator: YOH OYAMA
— Support Dancers —
REIKO HATA(BDC)
YUZO ABE(BDC)

CONCERT STAFF

Stage Direction: SHOW-er~KATSUHIKO HAGIWARA
Stage Management: SHOW-er~KATSUYOSHI HAGA/I.S.A.~TSUYOSHI MASHIKO/
KIYOSHI ISAYAMA/T's Project~KOUSHIRO TONOMURA
Stage Design Concept: KOTETSU YAMAMOTO
Stage Design: EGASHIRA DESIGN OFFICE~YOSHITOSHI EGASHIRA
Stage Design Co-ordinate: SHOW-er~KATSUHIKO HAGIWARA
PA: HIBINO ELECTRO SOUND~OSAMU MACHIDA(Sound Advice)/KAZUYA NAKAJIMA
HIDEKI TAKAMA/RYOU KAWAGUCHI/KATSUMI TODA/KATSURA TAKEBUCHI
Lighting: LIGHTING BIG 1~KIZASHI OKADA/SHIGEMI HIRABAYASHI/
TOMOKO YANABE/KATSUYA YUKIMURA/HISASHI KAGAYA
Equipment Technician: SHINKO MUSIC~AKIHIKO YAMASHINA/MASAKI FUJITA
HIROSHI SUMIDA/HIROTA NAKAJIMA
Transport: SUNPLANT~SETSUO NOTO/KEIJI INOUE/YOSHITSUGU YAMAMOTO
Electric Illumination: SHINKO KIKAKU~SEIICHI TOTSUKA
Stage Carpenter: SHIMIZU BUTAI-KOHGEI~KATSUHIKO KOKUBA/
MASARU MATSUYAMA
Choreograph: SEAN CHEESMAN/NOKKO
Laser: STUDIO RAY~NOBUO MURAKAMI
Special Effect: SANKYO CLOUD & SHOW-er~KOJI IZUMIYAMA
Costume: SHU TERATO
Hair & Make up: JET~ISAO YAMADA/MOTOH YOSHIMURA/
Miss TKAHASHI/CLIP~KATSUO URABAYASHI

Special Thanks To: **UBE** Sound Inc. **CD PRODUCTIONS** **Zildjian** **YAMAHA** **Pearl** **Ibanez** SHIBAURA SOUND STUDIO

Thanks a lot to the eventers: DISK GARAGE/SOUND CREATOR/WESS/M'S CORPORATION/
SUNDAY FOLK PROMOTION/DUKE/YUMEBANCHI/
KYODO HOKURIKU/BRAINS/PITTSBURGH UNION/PM AGENCY

PROMOTION STAFF

— CBS/SONY FITZBEAT STAFF —
YOSHIKATSU INOUE/HIROSHI INAGAKI/YOSHIAKI SATO/TOMOHIRO MUROTA/AKIRA SATO/
KATSUAKI SUZUKI/KENYA YAMAMOTO/SHOJI YAMANISHI/KENJI WATANABE/
KAZUHIRO MARUSAWA/KOJI ASAI/RYOU ENDO/TAKANOBU KOYAMA/SATOSHI SHIME/
KOHISUKE HOSAKA/TOSHIE SATO/ETSUKO HASEGAWA/SHINPACHI HONMA/SHOGO TAMADA/
YOSHIMI SHIMIZU/KENJI MORI/SHINJI KUMAKI/FUMIO SHIMADA

— SHINKO MUSIC STAFF —

YASUNORI KOYAMA/TAKAO HIYOSHI/TOMOMI MIZUTANI/SACHIKO HAGA/
MASUMI OTAKA/HIROKO SAWADA/MISAWO KASUYA

— THE STAFF —

Artist Management: SHINKO MUSIC~YUKIO KOBAYASHI/SHUNICHIRO TAKAHASHI/TAKESHI TAJIMA
Co-ordinate: SHINKO MUSIC~NORIYASU KAWAMURA/COUPOLA~SHUNJI UENO
Direction: SHINKO MUSIC~SHIGEKI AOYAGI
Produce: SHINKO MUSIC~SHOO KUSANO
Official Fan Club Staff: SHINKO MUSIC~NANAE YAGI/KEIKO OZAKI



